



トマト編



病害虫注意報
2017年7月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期定植時の防除特集

黄化葉巻病は定植後の生育初期に発病株が急増します！

おすすめローテーション

主な感染時期は育苗期後半から生育初期と考えられています。
粒剤や黄色粘着板等を活用して防除していきましょう！

①	ダントツ水溶剤 2,000~4,000倍 前日/3回 (ハチ15日以上) ※ハチグリバI類は2,000倍	コナジラミ類、アブラムシ類 ハチグリバI類
②	カウンター乳剤 2,000~3,000倍 1番花の開花まで/4回 (ハチ1日) ※ハチグリバI類、アザミヤ類は2,000倍	コナジラミ類、ハチグリバI類 アザミヤ類、オタバコガ、ハスモンヨトウ
③	ベストガード水溶剤 1,000~2,000倍 前日/3回 (ハチ10日以上)	コナジラミ類、アブラムシ類 アザミヤ類

おすすめ薬剤

灌注専用剤

ベリマークSC

根からの高い吸収移行性と長い残効性
マルチバチ・天敵にも安全性が高い！
広範囲な害虫に活性を示す！

- ・適用害虫
コナジラミ類、アブラムシ類、ハチグリバI類
アザミヤ類
- ・使用倍率/使用量
400倍/ 25ml/株 灌注
800倍/ 50ml/株 灌注
- ・使用時期/使用回数
育苗期後半~定植当日/1回
- ・ハチ影響日数 1日



コナジラミ類 おすすめ粒剤防除

ベストガード粒剤
(1~2g/株・1回)
株元処理 (ハチ30日以上)



育苗期処理の場合

アルバリン粒剤
(1~2g/株・1回)
植穴土壌混和 (ハチ40日)



定植時処理の場合

※ベストガード粒剤は育苗期に処理した場合、定植時には使用できません！

※アルバリン粒剤は育苗期1回、定植時1回ずつ使用可能です！

物理的防除を併用しましょう！

周辺雑草をしっかりと除草！

コナジラミの発生源となります

おすすめは【バスタ液剤】
トマト・ミニトマトに登録あります

黄色粘着板で捕殺

株の新芽あたりに
ぶら下げておくと効果的！

ネットの目合いは0.4mm以下

これより大きい目合いだと
コナジラミが通過してしまいます

おすすめ資材

毛細根充実！活着促進！

ファイトオーツ-

1,000倍

葉面散布
定植時のどぶ漬けにも！

